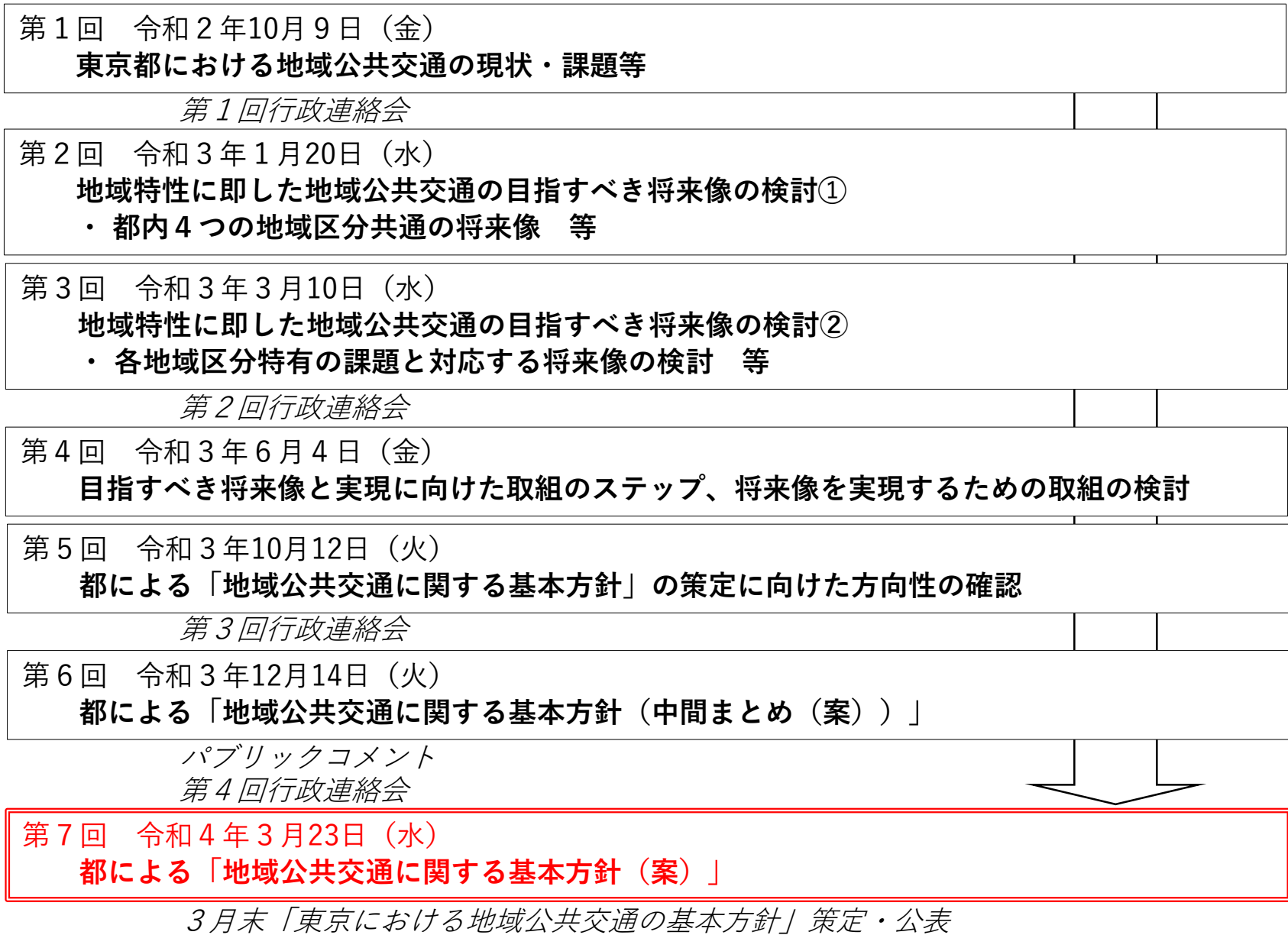


---

## 検討の経過（第 6 回までの振り返り）

---

# 検討のスケジュール



# 前回の主な意見と中間まとめへの反映

主な意見	中間まとめへの反映
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多摩、島しょ地域の交通需要マネジメントについては、移動需要を束ねるという考え方も大事。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用者確保の施策も検討していくことについて、「<b>§5-4：将来像の実現に向けた更なる検討</b>」に示しました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東京が、今後も自家用車依存することなく、公共交通を中心であり続ける決意のメッセージがほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「<b>§3-1：地域公共交通の理念</b>」に、これからも東京が公共交通の利便性が高い都市であり続けることを目指すと明記しました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後5年間で「重点取組期間」と定め取組を進めるということだが、より早く、スピード感を持って進めることが必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「<b>§5-1：「重点取組期間」の設定</b>」では、取組の内容を「アジャイル思考」で時代や状況の変化に応じて弾力的に見直していくことを示しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「拠点」にも主要駅から身近な拠点など、様々なサイズ感があると思う。イメージ図の中で、このことの表現が工夫されると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「<b>§1-3：基本方針の位置づけ</b>」の対象範囲を示す図に、地域ごとの交通結節点のイメージを示しました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用者の立場で、ユニバーサルデザインの移動を実現していくということを明記できればと思う。</li> <li>● バリアフリーについては、複数の事業者が連携して、ハード・ソフトが一体となったサービスが提供されることが望ましく、基本方針の中でも表現されると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「<b>§4-1：理念と将来像に基づく取組の視点</b>」、「<b>§5-2：「重点取組期間」で進める具体的な取組</b>」などに、ハード・ソフトが一体となったバリアフリーの実現を目指すことについて表現いたしました。</li> </ul>